

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
 この度、下記の検査項目につきまして、外注委託先より検査内容変更の連絡がございましたのでご案内申し上げます。
 先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】: 下記の一覧表をご参照ください。

【変更日】: 平成29年4月1日(土)受付分より

【変更内容】:

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
608	成長ホルモン (GH) ※関連図3ページ参照	検査方法	ECLIA法	CLEIA法
		基準値	M:2.47以下 (成人) F:0.13~9.88(成人)	年齢別・性別の基準値を設定
		報告単位	ng/mL	同左
		所要日数	2~4日	2~5日
		報告範囲	0.03以下~最終値	0.01未満~最終値
928	PTH-INTACT (副甲状腺ホルモン-INTACT) ※関連図3ページ参照	検査方法	ECLIA法	CLEIA法
		基準値	10~65	同左
		報告単位	pg/mL	同左
		報告範囲	1以下~最終値	1未満~最終値
1170	メタネフリン分画(尿) ※関連図3ページ参照	検体量	蓄尿 2.0mL	蓄尿 5.0mL
		検査方法	LC-MS/MS法	HPLC法
		所要日数	5~6日	6~12日
435	バニールマンデル酸 (VMA) ※関連図3ページ参照	検体量	蓄尿 2.0mL	蓄尿 3.0mL
		検査方法	LC-MS/MS法	HPLC法

※ 次ページに続きます。

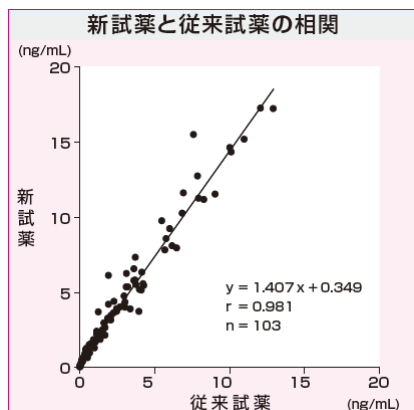
コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
658	ホモバニリン酸 (HVA) ※関連図3ページ参照	検体量	蓄尿 2.0mL	蓄尿 3.0mL
		検査方法	LC-MS/MS法	HPLC法
689	5-ハイドロキシインドール酢酸 (5-HIAA) ※関連図3ページ参照	検体量	蓄尿 2.0mL	蓄尿 5.0mL
		検査方法	LC-MS/MS法	HPLC法
		所要日数	4~5日	5~11日
729	α_1 -マイクログロブリン (α_1 MG)-血清 ※関連図4ページ参照	基準値	9.7~19.9	M:10.0~21.0 F:8.3~16.4
		報告単位	mg/L	同左
		報告範囲	0.9以下~1800.0以上	4.0以下~2500.0以上
730	α_1 -マイクログロブリン (α_1 MG)-尿 ※関連図4ページ参照	基準値	M:0.8~14.1 F:0.5~7.0	M:0.60~16.60 F:0.50~9.75
		報告単位	mg/L	同左
		報告範囲	0.0~500以上	0.00~500以上
430	β_2 -マイクログロブリン (β_2 MG)-血清 ※関連図4ページ参照	基準値	0.9~2.0	0.9~1.9
		報告単位	mg/L	同左
		報告範囲	0.3以下~600.0	0.3以下~最終値
431	β_2 -マイクログロブリン (β_2 MG)-尿 ※関連図4ページ参照	基準値	289以下	250以下
		報告単位	μ g/L	同左
		報告範囲	30以下~最終値	20以下~最終値
2615	IgG ₄ (IgGサブクラス) ※関連図4ページ参照	検査方法	免疫比濁法	ネフェロメトリー法
		基準値	5~117	4~108
		報告単位	mg/dL	同左
		報告範囲	2未満~2500	3未満~最終値

【変更理由】:

- 成長ホルモンは、成長科学協会が示す「補正式」による換算が不要な試薬に変更させていただきます。この変更に伴い、検査方法、基準値、報告範囲、所要日数を変更させていただきます。
- PTH-INTACTは、測定試薬を従来試薬と同等性能を有し、より測定範囲の広い試薬に変更させていただきます。この変更に伴い、検査方法、報告範囲を変更させていただきます。
- メタネフリン分画、VMA、HVA、5-HIAAは測定精度の向上を期し、測定機器および検査方法を変更させていただきます。この変更に伴い、検体必要量、所要日数等を変更させていただきます。
- α_1 MG、 β_2 MGは従来試薬販売中止のため同等の性能を有する同一メーカーの改良試薬に変更させていただきます。この変更に伴い、基準値、報告範囲を変更させていただきます。
- IgG₄は、従来試薬と同等性能を有する、汎用機器に対応できる試薬を採用し、検査方法を変更させていただきます。この変更に伴い、基準値、報告範囲を変更させていただきます。

■ 新試薬と従来試薬の比較

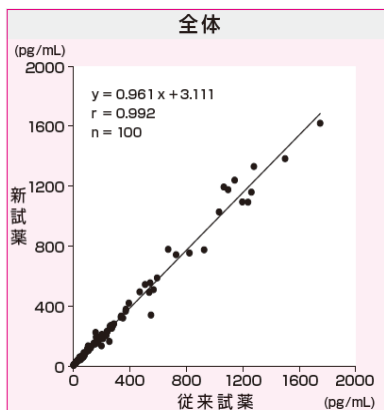
● 成長ホルモン(GH)



【検査方法の参考文献】

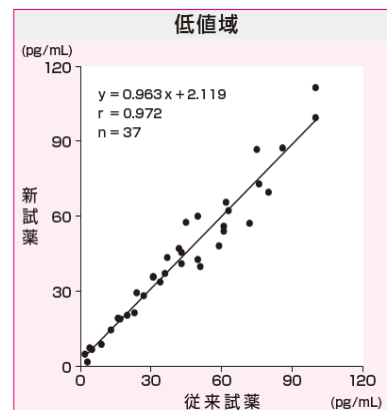
小山紗世, 他: 医学と薬学 68, 899-910, 2012.

● PTH-INTACT

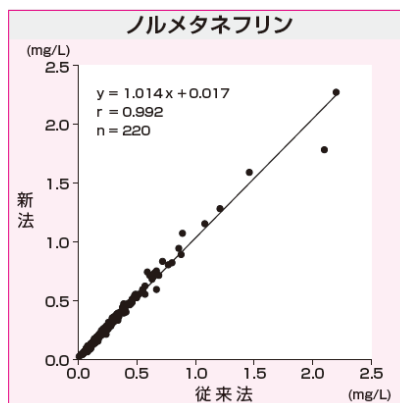
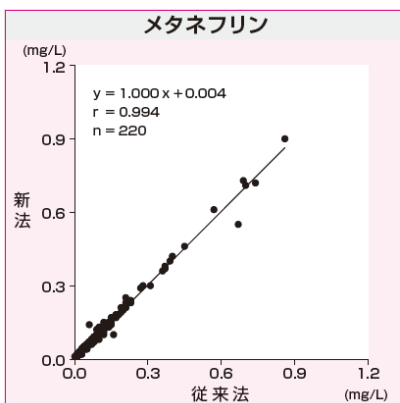


【検査方法の参考文献】

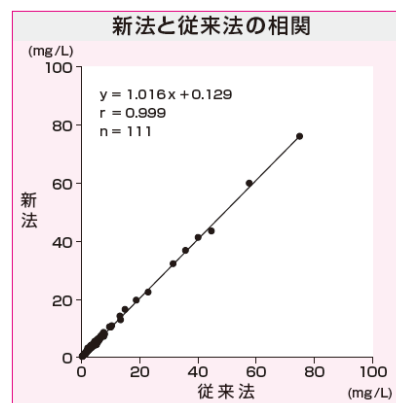
山岡美穂, 他: 医学と薬学 46, 753-758, 2001.



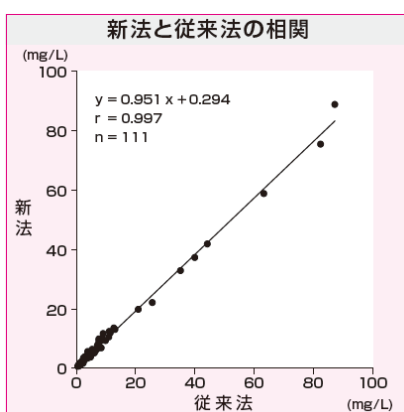
● メタネフリン分画



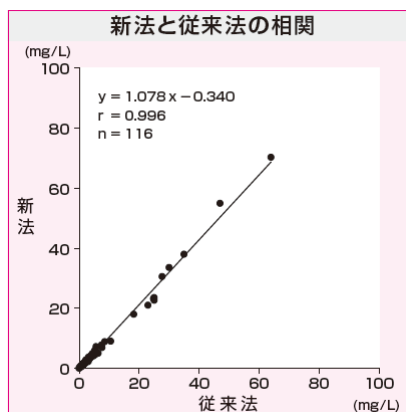
● バニールマンデル酸(VMA)



● ホモバニリン酸(HVA)

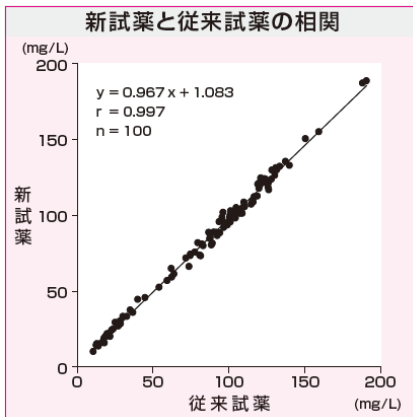


● 5-ヒドロキシインドール酢酸(5-HIAA)



(BML検討資料)

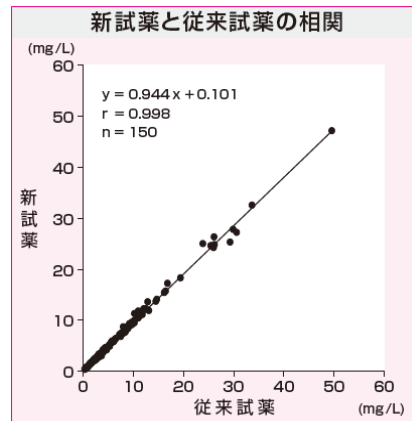
● α_1 マイクログロブリン(α_1 MG)血清



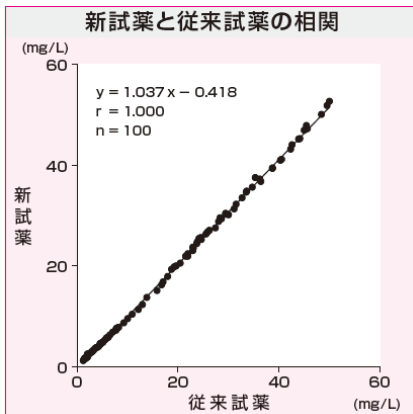
【検査方法の参考文献】

徳山昌司郎, 他: 医学と薬学 39, 835-844, 1998.

● α_1 マイクログロブリン(α_1 MG)尿



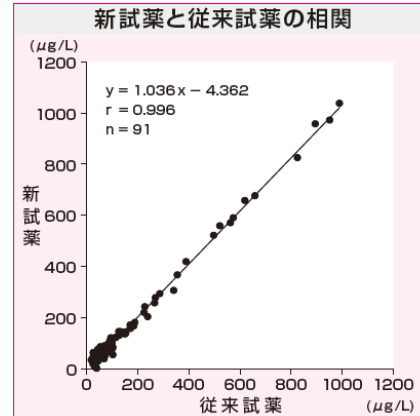
● β_2 マイクログロブリン(β_2 MG)血清



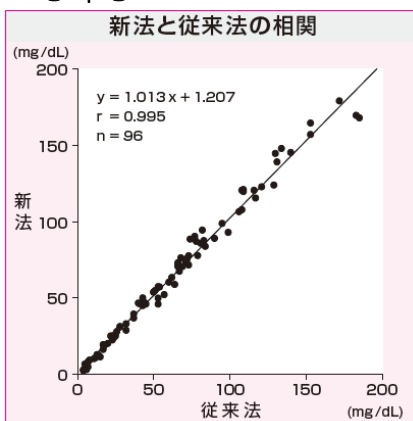
【検査方法の参考文献】

徳山昌司郎, 他: 医学と薬学 39, 835-844, 1998.

● β_2 マイクログロブリン(β_2 MG)尿



● IgG₄(IgGサブクラス)



【検査方法の参考文献】

崎山幸雄, 他: 日本臨床免疫学会会誌 21, 145-149, 1998.

(BML検討資料)